

三井高義略年譜

西暦	和暦	事績・作品
1903年	明治 36	10月15日、東京市麹町区に生まれる。
		暁星小学校卒。同中学校より慶應義塾普通部へ転校。さらに大学予科・専門部へ進むが、のちに中退する。
		東京美術学校（現東京藝術大学）入学。朝倉文夫・北村西望・建畠大夢・池田勇八へ師事。
1925年	大正 14	第6回帝展に「のり馬」初入選。
1927年	昭和 2	第2回聖徳太子奉贊会展「かた影」。第8回帝展「老」。
1928年	昭和 3	第9回帝展「つながれた馬」。
1929年	昭和 4	日佛芸術展「こぼれ餌」銀賞。
1930年	昭和 5	東京美術学校卒業。
1931年	昭和 6	第12回帝展「馬習作」。三越にて最初の個展を開く。
1933年	昭和 6	第14回帝展「曠原の夕映」。
1934年	昭和 9	第15回帝展「乗馬婦人」。
1935年	昭和 10	三部会会員に選ばれる。同会展にて「ピーター」特選。三井不動産旧浜田山グランドゲストハウスに「三匹の馬」を設置。
1936年	昭和 11	三部会展・「親子」「牛」「女」。この年に同会を退会。
1937年	昭和 12	1947年（昭和22）まで作品を出品せず。
1948年	昭和 23	読売アンデパンダン「ジョン」「なぎさ」。
1949年	昭和 24	読売アンデパンダン「骨」「あくび」。
1950年	昭和 25	日展へ復帰する。第6回日展「馬浮彫」。
1951年	昭和 26	御料馬「白雪号」を献納。「まき乗」「稲穂」「木曾路」「群馬」「牛」。この年は作品を出品せず。
1952年	昭和 27	第8回日展「昇汐」。
1953年	昭和 28	第1回日影展「馬」。第9回日展「後退」。
1954年	昭和 29	第2回日影展「使役を終へて」「放牧」「吹雪」「豚」「ゲームバンタム」。第10回日展「馬（銀波号）」。
1955年	昭和 30	第3回日影展「日向ぼっこ」「鼠」。第11回日展「馬（吹雪引伸）」。
1956年	昭和 31	第4回日影展「憩う馬」日影賞。
1957年	昭和 32	第5回日影展「ねこC」。第13回日展「馬車馬」特選。
1958年	昭和 33	第6回日影展「ネプチューン」。
1959年	昭和 34	第7回日影展「いたづら盛」「日本馬術聯盟メダル原型」。第2回新日展「木曾っこ」。

1960 年	昭和 35	第 8 回日彫展「オーシャンパトロール」。第 3 回新日展「いとし子」菊花賞。
1962 年	昭和 37	新日展審査員となる。第 10 回日彫展「真健師座像」。第 5 回新日展「組馬」。
1963 年	昭和 38	新日展会員に推举される。第 11 回日彫展「馬習作」。
1964 年	昭和 39	第 12 回日彫展「馬頭」。第 7 回新日展「風」。北海道帯広競馬場へ「イレネ一号」(加藤顯清制作) 再設置にあたり尽力。糸井神社(奈良県磯城郡川西町)へ絵馬を奉納。
1965 年	昭和 40	第 13 回日彫展「犬の顔」。第 8 回新日展「歩む馬」。三越において 2 回目の個展を開催する。
1966 年	昭和 41	第 14 回日彫展「乳牛」。第 9 回新日展「トキノミノル号」。
1967 年	昭和 42	第 15 回日彫展「牛の群」。
1968 年	昭和 43	第 16 回日彫展「放たれた喜び」。第 11 回新日展「シンザン号」。
1969 年	昭和 44	第 17 回日彫展「うちのカア公」。改組第 1 回日展「十勝馬の徒渉」。
1970 年	昭和 45	第 18 回日彫展「涼風」。
1971 年	昭和 46	改組第 1 回日彫展「山あぶ」。第 3 回日展「日高の思出」。
1972 年	昭和 47	第 2 回日彫展「スピードシンボリ号」。第 4 回日展「アフガンの仔」。
1973 年	昭和 48	第 3 回日彫展「アニー」。10 月に訪仏。ノルマンディのパン牧場を訪問する。
1974 年	昭和 49	第 6 回日展「パン牧場にて」。
1975 年	昭和 50	第 5 回日彫展「若いアフガンの顔」。第 7 回日展「緑草を追って」。
1976 年	昭和 51	三越において 3 回目の個展「彫塑 50 年展」を開催する。第 8 回日展「攻撃」。
1977 年	昭和 52	根岸競馬記念公園オーブンにともない「トキノミノル号」「シンザン号」を設置。
1978 年	昭和 53	柏林公園(北海道広尾郡大樹町)に「曠原の夕映」を設置。
1979 年	昭和 54	第 11 回日展「水飼」。
1981 年	昭和 56	第 13 回日展「第一歩」。
1982 年	昭和 57	第 14 回日展「五駿」。
1983 年	昭和 58	第 15 回日展「組馬のコンポジション」。
1984 年	昭和 59	第 14 回日彫展「友美」。第 16 回日展「コトブキ号」。
1987 年	昭和 62	1 月逝去。第 19 回日展「馬」(未完成)。

※作品は、公表された年に掲載しています。製作年・鋳造年とは異なっていることがあります。